



平成 26 年 10 月 15 日
ストラスブール研究連絡センター

フランス国民教育・高等教育・研究省(MENESR)

●「第 2 回高等教育・研究に関するフランス-ブラジルフォーラム」

2014 年 9 月 15-16 日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ 高等教育・研究担当大臣は、パリで行われた第 2 回高等教育・研究に関するフランス-ブラジルフォーラムに参加した。本フォーラムで、フィオラゾ大臣は、第 1 回フォーラムは 2009 年 11 月に行われたが、フランスとブラジルの学術協力の歴史はもっと長いこと、「国境なき科学」奨学金プログラムのように、両国間の学生・ポストクの交流を支援する取り組みを行っているが、未だ両国間の大学交流が十分ではなく、今後の更なる発展を期待することなどを述べた。また、ブラジルもフランスと同様、高等教育・研究、イノベーションを社会・経済発展の鍵とみなしていることや、フランスが南米との協力関係強化を重視していること、ブラジルは欧州連合にとって第 6 番目の国際協力パートナー(FP7 における研究開発参加数ベース)であることにも触れた。

・フランス高等教育研究省“Ouverture du 2e Forum franco-brésilien sur l'enseignement supérieur et la recherche”(2014 年 9 月 15 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid82192/2e-forum-franco-bresilien-sur-l-enseignement-superieur-et-la-recherche.html>

●「欧州-地中海地域国立応用科学研究所(INSA Euro- méditerranée)の立ち上げ」

2014 年 9 月 21-22 日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ 高等教育・研究担当大臣は、モロッコのラバトとフェズ訪問の際、Lahcen Daoudi モロッコ高等教育・研究・幹部教育大臣と共に、欧州-地中海地域国立応用科学研究所を正式に立ち上げた。欧州-地中海地域 INSA は、欧州-地中海規模のエンジニアリング分野での公的高等教育・研究機関としては初の機関である。将来のフェズ欧州-地中海地方大学キャンパス内に設立され、2015 年度より、地中海沿岸地方からの学生を受け入れる。航空学、エネルギー、力学、自動車の分野での職業教育や、マグレブ、中東、欧州レベルで認定される資格を提供する。

また、フィオラゾ大臣は、フランスとモロッコの科学・大学の共同建設に関連する他のプロジェクト(2015 年 9 月に開校予定のカサブランカ・エコール・サントラル、地中海地方ロジスティック・輸送研究所創設プロジェクト、ラバト国際大学と提携した国際技術大学の創設プロジェクト、フランス国立工芸院と提携したモロッコでの生涯教育機関の創設プロジェクト、エクス=マルセイユ大学、ラバト国際大学、Abdelmalek Essaâdi de Tanger-Tétouan 大学との提携プロジェクト)に関しても検討した。

・フランス高等教育研究省 “Lancement officiel du premier Institut de technologie euro-méditerranéen” (2014年9月22日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid82336/lancement-officiel-du-premier-institut-de-technologie-euro-mediterraneen.html>

●「180秒で語る博士研究:フランスの学生2名が国際最終選考で入賞」

「180秒で語る博士研究」最終選考で、フランスからの学生2名が入賞した。第1位には、Noémie Mermet氏(オーヴェルニュ大学)、第2位及び聴衆賞には Marie-Charlotte Morin氏(ストラスブール大学/CNRS)が選ばれた。この結果を受けて、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は「今回の受賞により、フランスの教育の質の高さが評価された」として、両者を称えた。

・フランス高等教育研究省 “Ma thèse en 180 secondes : deux doctorantes françaises lauréates de la finale internationale francophone” (2014年9月30日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid82570/ma-these-en-180-secondes-deux-doctorantes-francaises-laureates-de-la-finale-internationale-francophone.html>

●「トゥーロン大審裁判所、CLESI(私立国際高等教育自由センター)閉校を命令」

トゥーロン大審裁判所が、私立教育機関であるCLESI(私立国際高等教育自由センター)の閉校命令を下した。本判決は、若手歯科医連合からの告訴を受けた結果である。トゥーロン大審裁判所は、高額な学費と基準に満たない教育により CLESI はフランスでの教育提供に必要な要件を満たしていないとした。CLESI は、私立 Fernando Pessoa 大学センターを前身とする高等教育機関で、教育要件、教育内容、教員プロフィールに関する書類の提出を求められていたが、それを怠っていた。

ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、今回のトゥーロン大審裁判所の判決について、学生とその家族に対して状況を明らかにできるとして、歓迎した。

・フランス高等教育研究省 “Décision du Tribunal de grande instance de Toulon ordonnant la fermeture du CLESI” (2014年9月30日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid82566/decision-du-tribunal-de-grande-instance-de-toulon-ordonnant-la-fermeture-du-clesi.html>

フランス国民教育・高等教育・研究省(MENESR)・フランス国立科学研究センター(CNRS)・フランス国立情報学自動制御研究所(INRIA)

●「Gérard Berry氏、2014年CNRS金賞受賞」

2014年9月24日、CNRSは2014年CNRS金賞を情報学者のGérard Berry氏に授与することを発表した。氏は、Inriaの研究ディレクターや評価委員会長を経て、2012年からはコレージュ・ド・フランスの最高正教授を務め、飛行機の操縦等に応用されているアプリケーションである、Esterelと呼ばれるプログラミング言語の開発に取り組んできた。

CNRS金賞は、フランスの科学界で最も名誉ある賞として知られている。

・フランス高等教育研究省“L’informaticien Gérard Berry, lauréat de la médaille d’or du CNRS ” (2014年9月25日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid82399/l-informaticien-gerard-berry-laureat-de-la-medaille-d-or-du-cnrs.html>

・CNRS“La médaille d’or 2014 du CNRS est décernée à l’informaticien Gérard Berry”(2014年9月24日) <http://www2.cnrs.fr/presse/communique/3739.htm>

・INRIA “Gérard Berry Médaille d’or du CNRS”(2014年9月24日)
<http://www.inria.fr/actualite/actualites-inria/gerard-berry-medaille-d-or-du-cnrs>

フランス国立科学研究センター(CNRS)

●「CNRSとCEA、Cernの60周年記念イベントを企画」

2014年9月29日、Cern(欧州原子核共同研究機構)が設立60周年を迎えた。フランスは、設立国として、CNRSやCEA(原子力・代替エネルギー庁)、大学の研究室を通じて、Cernの国際共同研究に設立当初から貢献してきた。CNRSとCEAは、この60周年を記念して、フランス国内で、会議、見学会、展示会など、一般市民を対象にした様々なイベントを企画している。イベントの詳細は以下のサイトで閲覧できる。

<http://cern60.web.cern.ch/fr>

・CNRS “Le CNRS et le CEA accompagnent les 60 ans du Cern en France”(2014年9月29日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communique/3747.htm>

フランス国立研究機構(ANR)

●「Michael Matlosz氏、ANR会長に任命」

ANRの新会長に、技術アカデミー委員で、化学者のMichael Matlosz氏が任命された。氏は、2012年1月よりANR会長を務めていたPascale Briand氏の後を引き継ぐ。氏は、4月以降、ANR会長補佐を務めていた。

・ANR “Michael Matlosz nommé Président Directeur Général de l’ANR”(2014年9月12日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/michael-matlosz-nomme-president-directeur-general-de-lanr/>

●「Yves Robert 氏、IEEE TCSC 優秀賞を受賞」

リヨン・エコール・ノルマル・スペリウール(ENS de Lyon)のインフォーマティク研究所(LIP)教授の Yves Robert 氏が、IEEE TCSC(Institute of Electrical and Electronics Engineers - Technical Committee on Scalable Computing/米国電気電子技術者協会-スケーラブルコンピューティング技術委員会)優秀賞を受賞した。本賞は、高性能計算分野における優秀な業績を修めた研究者に授与され、氏の受賞は欧州人で初めての快挙となる。授賞式は2014年5月26-29日に、シカゴで行われた第14回IEEE/ACM国際シンポジウムの際に行われた。

・ANR “ Yves Robert distingué pour ses travaux sur le calcul haute performance ”(2014年9月22日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/yves-robert-distingue-pour-ses-travaux-sur-le-calcul-haute-performance/>

●「2015年包括的公募:国際プロジェクトの奨励」

ANR は欧州・世界規模の共同研究、及びフランス研究チームと外国の研究チームとのハイレベル科学提携の推進に取り組んでいる。これに伴って、ANR は PRCI(国際-共同研究プロジェクト)研究助成を行う。2015年の包括的公募では、国内研究チームの共同研究相手としての対象国は、ドイツ、オーストリア、ブラジル(ペルナンブーコ州、サンパウロ州)、カナダ、中国、インド、香港、シンガポール、スイス、台湾、トルコとなっている。

・ANR “ Appel générique 2015 : les projets internationaux encouragés ”(2014年10月2日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/appel-generique-2015-les-projets-internationaux-encourages/>

フランス国立農業研究所(INRA)

●「Inra、Agrocampus Ouest、ブルターニュ、ペイ・ド・ラ・ロワール農業議会の基本協定」

2014年9月17日、Jacques Jaouen ブルターニュ農業議会議長、Christiane Lambert ペイ・ド・ラ・ロワール農業議会副会長、Patrick Herpin Inra レンヌ・ブルターニュ・バス=ノルマンディー会長、Henri Seegers Inra アンジェ・ナント会長、Grégoire Thomas Agrocampus Ouest 局長(Cédric Troadec 職業提携ディレクターが代理)は、レンヌのSPACEで提携基本協定に署名した。本協定は、3年間有効で、技術経済関連の生産を奨励することを目指す。

・INRA “Space 2014 : Accord cadre Inra, Agrocampus Ouest et chambres d'agriculture de Bretagne et des Pays de la Loire”(2014 年 9 月 18 日)

<http://www.rennes.inra.fr/Toutes-les-actualites/Accord-de-partenariat-Inra-Agrocampus-Ouest-et-chambres-d-agriculture-du-Grand-Ouest>

フランス国立情報学自動制御研究所 (INRIA)

●「2014 年 Inria 賞受賞者発表」

Inria は 2014 年の Inria 賞受賞者を発表した。本賞の授与式は、2014 年 10 月 13 日、パリで行われる画像フォーラムの際に行われる。受賞者は以下の通り。

・Inria-科学アカデミー大賞: Nicholas Ayache 氏 (Inria 研究ディレクター) 医療画像のシミュレーションと解析が専門。

・Inria-科学アカデミー-ダッソーシステムズイノベーション賞: Patrick Valduriez 氏 (Inria 研究ディレクター) 分散データ管理の専門家。

・Inria-科学アカデミー若手研究者賞: Paola Goatin 氏 (Inria 研究員) 応用数学が専門。

・イノベーション・研究支援賞: Inria MoocLab 技術チーム (エンジニアと研究員から成るチーム) フランスのデジタル大学 (FUN) の開発・調整に貢献。

・研究支援サービス賞: Inria 新イントラネットパイロットチーム

・INRIA “Inria annonce les lauréats des Prix Inria 2014 ”(2014 年 9 月 17 日)

<http://www.inria.fr/actualite/actualites-inria/laureats-prix-inria-2014>

●「Inria、台湾との協力関係強化」

2014 年 9 月 12 日、Inria パリセンターにおいて、Jong-Chin Shen 台湾経済部副大臣、Michel Ching-Long Lu 在仏台北代表、Pao-Chung Ho 台湾産業情報研究所 (III) 局長補佐、Antoine PetitInria 局長補佐出席の下、共同研究基本協定の署名が行われた。本協定により、Inria 研究チームは、台湾経済部の支援の下、台湾 III チームとの共同研究を立ち上げることが可能になる。また、UPMC (ピエール・マリー・キュリー (パリ第 6) 大学) の OneLab コンソーシアムと台湾の間で締結された補足協定 Equipex FIT (Future Internet of Things) への Inria の参加枠組みに含まれている。

・INRIA “Inria renforce sa coopération avec Taiwan”(2014 年 9 月 17 日)

<http://www.inria.fr/actualite/actualites-inria/inria-renforce-sa-cooperation-avec-taiwan>

●「Inria と Mitacs、国際共同研究を強化」

Mitacs と Inria は、カナダの大学を卒業した研究者と 8 つの Inria 研究センターの国際交流の機会を提供するパートナーシップを発表した。これにより、カナダの学生と Inria の博士課程の学生が、

大西洋を越えたプロジェクトに参加することが可能となる。

Mitacs はカナダでの教育・研究プログラムを提携する非営利組織で、60 大学、6000 以上の企業、連邦政府、州と提携して、社会的・産業的イノベーションを支援するパートナーシップを手がけている。

・INRIA “ Inria et Mitacs renforcent leur collaboration internationale en matière de recherche ”(2014 年 9 月 22 日)

<http://www.inria.fr/actualite/actualites-inria/inria-et-mitacs-renforcent-leur-collaboration-internationale>

●「Antoine Petit 氏、Inria の新会長に」

2014 年 9 月 26 日のフランス大統領の政令により、Antoine Petit 氏が Inria 運営委員会会長に任命された。任期は 5 年。氏は、数学博士で、エコール・ノルマル・シュペリウール・カシャン (ENS Cachan) の大学教授であり、Inria の局長補佐を務めていた。

・INRIA “ Antoine Petit nouveau PDG d’Inria ”(2014 年 9 月 29 日)

<http://www.inria.fr/actualite/actualites-inria/antoine-petit-nouveau-pdg-d-inria>

フランス各紙

●「国による学生の賃貸保証」

9 月より新学期が始まり、学生賃貸保証 (CLé) 制度が導入された。本制度は、28 歳未満の保証人がいない学生に対して、国が保証人になるというもの。学生の収入や家庭状況、国籍にかかわらず、家賃上限がパリで 700 ユーロ、イル・ド・フランスで 600 ユーロ、その他の地方で 500 ユーロであることのみを条件に利用可能である。本制度は、「住居難が学業の妨げにならないように」という意図のもと実施される。本制度の実施について、学生組合は、「この時期、多くの学生は既に住居を決定済みで本制度を利用できない。実施が少し遅すぎる。」と不満を漏らした。

フランスでは、下宿を探している学生の 6 人に 1 人が保証問題に悩まされている。学生生活調査によると、46.8% の学生が民間の住居に住まい、32.3% が自宅通学、7.4% が大学寮を利用している。また、一月の平均生活費が 799 ユーロで、内、家賃が占めるのは平均 426 ユーロ(パリでは 597 ユーロ)という。

・DNA “ L’État apporte sa caution aux étudiants ”(2014 年 9 月 9 日)

●「フランスの格差問題」

2014 年 9 月 15 日、ドイツの Bertelsmann 財団による格差調査結果が発表された。本調査は、欧州 28 カ国を対象に、貧困防止、教育、労働市場、健康、世代間格差、社会的団結の 6 分野を調査

したもの。その結果によると、フランスは欧州平均をわずかに上回る 12 位に過ぎず、格差解消のための対策が今後の課題となった。項目別では、高齢者の孤立に関しては、4 位(11%、欧州平均 21.7%)と健闘している一方で、社会的出身の学歴への影響では 26 位と下位にランク付けされた。本調査結果を受け、Le Monde 紙は、フランスは低所得層に対して厳しくなっており、社会的連帯感が崩れてきていると分析した。

・Le Monde “Inégalité: les piètres résultats du modèle français”(2014 年 9 月 16 日)

●「ルノー、カーシェアリング市場へ参入」

2014 年 9 月 9 日、フランス自動車会社ルノーは、バッテリーメーカーでカーシェアリング制度運営会社であるボロレと提携協定を結んだ。これにより、BMW、ダイムラー、PSA プジョー・シトロエンに続き、ルノーもカーシェアリング市場に参入することになった。ルノーはボロレに対して、新たな電気自動車を提供することになる。

カーシェアリングは、自動車新モデル紹介の場として機能するだけでなく、交通渋滞や CO₂ 排出問題などの対策ともなるということで、各社から注目を浴びている。カーシェアリングサービスの利用は、2011 年から 2020 年の間に約 10 倍(利用者 800 万人、車両数 13 万台)に増加すると推定されている。

・Le Monde “Les constructeurs à l’assaut de l’autopartage”(2014 年 9 月 10 日)